

# 久慈市と 恐竜とリボンと あーちすと「のん」

2月10日、女優・創作あーちすと、のんさんは、情報交流センターYOMUNO SUを訪れ「久慈市×のん NFTアート贈呈式」と、作品の販売によって得られた収益が市へ全額寄付されることへの思いを語りました。



作品名は「王様のマント」(縦80・3センチ、横65・2センチ)。市で化石が発見されたパロニコドンという恐竜をモチーフにした作品。恐竜がリボンのマントをまとい、王冠を被ることで強くなるというイメージが表現されています。

のんさんは「自分自身も恐竜が好きで、久慈で恐竜の化石が発掘されるニュースも見ていました。NFTの話聞き、久慈に贈る絵は、これを描きたいと思いつつもより時間をかけ、最後は徹夜をして仕上げました。久慈を第2の故郷のように感じているので、一緒に力強く歩んでいけたらいいなと思っています。強さ



を久慈にも感じているし、自分もそうありたいと思っています。」と心境を語りました。

遠藤市長は「昨年の3月に大きなアート作品『よむのむし』もいただきました。今回の作品は、恐竜の顔が

しつかり描かれ、リボンのイメージでやさしさが表現されていると思います。丁寧に作られているので、ぜひみなさんに実物をみていただきたい」と思いを語りました。

NFTとは、唯一無二で

あることが証明されたデジタルデータで、販売額はクリエーターに半永久的に還元されます。

今回、この作品がNFTアート作品として販売され、その売上が市に全額寄付されます。



のんさんが、脚本・監督・主演を務める映画、「Ribbon」の全国公開にあわせて、災害のときも市を元気づけてくれた、のんさんに恩返しをしたいと、久慈市観光物産協会、久慈商



のん official twitterより引用

工会議所などがKUJIX Ribbonプロジェクトを立ち上げました。第1弾は、中心部商店街に歓迎のRibbonフラッグを設置。道の駅くじやませ土風館では、歴通路広場に配置したみもの木をリボンで装飾しました。YOMUNO SUの1階はリボンでデコレーション。金魚鉢の中を「Ribbon」をイメージした魚が、気持ちよさそうに泳いでいます。そのほか市内の協力店は、Ribbonをイメージした特別メニューを提供。

これからもさまざまなリボンで、のんさんを応援していきます。

